

秋の叙勲

秋の叙勲が発表され、町では一名の方が受章されました。

瑞宝単光章

草門隆さん

(神山自治会)



草門さんは、昭和40年3月に小田急電鉄株式会社に入社し、電車の最高検査を行う大野工場に配属され、その後本社でロマンスカーなどの車両設計や3カ月に一度の検査を行なう検車区業務に従事する一方で、運転士の養成講師も務められました。副工場長、電機職場長

検車区長、助役などを歴任され、車両課課長代理を経て、平成15年6月に大野工場長となり「お客様への良質車両提供」の責任者として活躍され、平成18年9月に定年退職されました。長年の鉄道業務へのご尽力から、このたびの叙勲となりました。

12月3日から9日は障害者週間

○障害者週間とは？

「障害者週間」は、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として定められています。

この期間を中心に、国、地方公共団体、関係団体などでは、さまざまな意識啓発のための取り組みを実施しています。

障害は多種多様で、外見ではわからない障害もあります。障害による不自由さはあっても、周囲の理解や配慮で自由にできることは多くあります。だれもが暮らしやすい共生社会の実現のため、ひとり一人が日常生活の中でできる配慮や工夫を考えてみましょう。

【問合せ】 福祉課福祉推進係
☎(83) 12226

製造事業所のみなさまへ 工業統計調査のご案内

平成21年工業統計調査を平成21年12月31日現在で行います。調査の実施にあたっては、12月中旬から来年1月にかけて統計調査員がおうかがいします。なお、ご提出いただく調査票については、統計法に基づき統計作成以外の目的には一切使用されません。秘密が厳守されますので、ご協力をよろしくお願いします。

- 調査内容 従業者数、製造品出荷額、原材料使用額など
- 問い合わせ 神奈川県総務部統計課・工業統計班 ☎045(210)3221
または松田町企画財政課企画係 ☎(83)1222

利用者とは施設を結ぶかけ橋 介護相談員

現在、多くの高齢者が介護保険施設などを利用し、各種サービスを受けています。しかし、サービスに対する要望、疑問や不満があっても利用者が施設に直接伝えることを遠慮することが多くあります。

松田町では介護相談員派遣事業に平成13年度より着手し、介護相談員が事業者(施設)と利用者との間で、福祉サービスの充実を図るため積極的に活動できる体制づくりを行ってきました。現在は、足柄上地区の特別養護老人ホーム4施設の利用者に対して、介護相談員が定期的に訪問しています。また、利用者から受けた要望を客観的な視点で見直し、建設的

な提案ができるよう、施設訪問後はミーティングを開いています。そこでは、相談員全員の情報共有と意見交換を行い、まとめた意見、要望や気づいたことなどを各施設へ伝えていきます。

今年3月には発足当初から活動していた2名が退任し、10月に介護相談員養成研修を修了した2名を新たに介護相談員に迎え、8名体制で再出発しました。新たに加わった2名の方からは「何回か施設訪問をしてみて、利用者との会話の困難さを痛感しています。介護相談員が訪問をしていない施設に入所している利用者のことも気になります。すべてが勉強、がんばります。」



写真上左から澁谷藤恵さん、押尾美津子さん、内藤ミチ子さん、久保博靖さん
写真下左から山田明美さん、岩田勝さん(新任)、橋本眞一さん(新任)、原野純子さん

「岩田さん」利用者として事業者とのかけ橋となれるよう努めたいと思います。「橋本さん」と力強い抱負をお寄せいただきました。介護相談員は、今後もまだ訪問が実現していない町内や近隣市町の介護保険施設へ活動範囲を広げ、利用者の皆さんの意見や要望などを施設へと伝えるサポーターとして活躍していただきます。利用者が快適に過ごせるよう相談員一丸となって取り組んでいきます。

【問合せ】 福祉課高齢介護係
☎(83) 12226

女性セミナー「楽しい親子教室」好評開催中

6月1日から来年2月まで全6回にわたって、「親子教室」が展示ホールを主な会場として開催されています。毎回、子どもと保護者が一緒に遊んで紙芝居を見たりピアノの伴奏に合わせて歩いたりして楽しいひとときを過ごしています。

1回目は「紙芝居と歌遊び」がテーマでした。就園前の子どもにとって60分はとても長い時間です。しかし、子どもが飽きそうになつてくると、手遊びをしたり、親子で一緒に歌ったり、ゲームをしたりして、手をかえ、品をかえ、子供たちの興味を引きながら実施してました。

2回目は「形」、3回目は「色」、4回目は「数字」をテーマにして実施しました。「形」遊びのときは、床面に描かれた○・△・□のところに、「色遊び」のときは、床面に描かれた赤・緑・黄の3色の大きな音符のところへ、「数字遊

び」のときは、指定された数字のところへ、それぞれ指示された場所へすばやく移動する遊びです。

また、「フラフープ」を使った遊びでは、フラフープを自動車のハンドルに見立て、ドライブを楽しんでいました。ピアノの伴奏に合わせて、速く歩いたり、遅く歩いたりして「新松田駅」に止まったり「文化センター前」に止まったりしてミニドライブを楽しんでいました。

最終回は、2月10日(水)10時から展示ホールで開催します。興味のある方はぜひ見学にお越しください。

【問合せ】 教育課生涯学習係
☎(83) 7023



絶対に振り込まない! 振り込め詐欺の防止には 家族で対応!

～振り込め詐欺の被害にあわないための注意点～

- 1 自分のところにも必ず、振り込め詐欺の電話がかかってくるという気持ちを持ってください。
- 2 振り込め詐欺は、事前に「電話番号を変えた」という連絡(全体の約4分の3)があります。必ず、変更前の番号に電話をして確認してください。
- 3 家族の間で通用する合言葉(例えば、ペットの名前など)を決めておき、本当に家族かどうかを確認するようにしましょう。
- 4 還付金などの詐欺が増えています。税務署、社会保険庁、役場などの職員から、携帯電話を持ってATM機へ行くように指示されるようなことは絶対にありません。

まずは松田警察署 ☎82-0110 に相談!